

令和4年度事業計画

概 況

令和3年の気象概況は、2月から6月までの気温が比較的高く推移したものの、7月以降の気温、日照量とも平年並み又はそれ以下となりました。さらに7月、8月の雨量は平年より多く、その影響もあり年初から堅調に推移してきた電話相談受付件数は夏季に入ると伸び悩む結果となりました。

また、令和2年春は新型コロナウイルスの消毒方法等の指導を求める電話問い合わせに忙殺されましたが、令和3年になると感染症対策の知識の広まりや、ワクチン接種も始まり、新型コロナウイルスに関する電話相談は大幅に減少する結果となりました。

一方、環境衛生に関する動向をみますと、令和2年暮れから春にかけて、関東甲信越地区本部長及び千葉県ペストコントロール協会会長から「鳥インフルエンザ対応に係る車両消毒支援動員」の依頼があり、令和2年12月27日から令和3年3月10日まで感染症予防衛生隊が1箇所の車両消毒ポイントを担当し、1日24時間の消毒業務に当たりました。

また、7月8日には相模原市の養豚場において豚熱の発生が確認され、7月12日から21日まで当協会が車両消毒ポイント2箇所の24時間消毒業務を受託しました。さらに、豚熱の感染は近隣の県でも確認されており、関係行政機関の緊迫感は極めて高まっております。

公益社団法人神奈川県ペストコントロール協会は、協会設立以来の諸先輩方の努力の積み重ねもあり、協会の知名度も不十分とは言え徐々に市民に浸透しつつあり、県民の皆様の電話相談も増加傾向にあるといえます。また行政機関からも、感染症対策や自然災害発生時のパートナーとして信頼を得られるようになってきたとの実感もあります。

しかしながら、競争の激化、後継者問題などPCO業界を取り巻く情勢は決して楽観できるものとは言えず、さらなる努力が求められているといえます。

協会では令和2年に設立50周年を迎えましたが、これを機に新たな飛躍を期すべく「協会の在り方」、「PCOの市民生活への一層の浸透」、「県・市町村など地方行政機関との連携の推進」、「PCO業務従事者の技術力の更なる向上」、「PCO業務の継承者の育成」、「空き家対策への参画」など様々な課題をテーマに検討を進めて参りたいと考えております。

事業内容

1 公衆衛生の向上を図るために

- (1) 公共機関、各種地域団体及び公益事業団体、業界団体並びに市民団体などとの連携強化
- (2) 感染症予防衛生隊の活用及び充実強化
- (3) 安全な生活環境を確保するための各種調査研究活動の充実・強化
- (4) 市民も参加できる各種講習会の開催
- (5) 地域社会における公衆衛生の推進強化

2 地域社会への浸透を図り、公益事業の強化を図るために

- (1) 害虫110番事業の機能強化
- (2) ホームページの効率的運用
- (3) 有害、不快生物等の同定・相談事業の実施
- (4) 有害・不快生物に関する防除の正しい知識の普及・啓発
- (5) 市民の知識を啓発するための「虫の日」イベント等の開催・参加
- (6) 公共機関、市民団体、業界団体等への講師の派遣

3 防除技術の向上を図るために

- (1) 技能師資格の普及・拡充
- (2) 技術関連講習会の充実強化による新たな課題への対応
- (3) 各種技術情報の収集・提供
- (4) IPM（総合的有害生物管理）に即した防除手法の普及・開発
- (5) 機関誌「情報発信 from かながわ」の発行
- (6) 各種学会への協賛・参加
- (7) 資料室・研修室の充実と活用の促進

4 協会の基盤強化のために

- (1) 組織の充実強化
- (2) 協会広報活動の強化
- (3) 会員を対象とした経営相談等の窓口開設の検討
- (4) 経営環境改善講習会の実施
- (5) 次世代型指導者の育成と支援
- (6) 会員相互の親睦、連携を図るための福利厚生事業の実施
- (7) 新規会員の加入促進